

一連の抗議デモでジウマ大統領の訪日は延期

ブラジル各地で発生している一連の抗議デモの影響で、ジウマ・ロウセフ大統領の6月23日から約1週間の予定の訪日が延期された。

ジウマ大統領は約1週間継続している街頭での大衆抗議デモに対して、ブラジルを離れることを避ける選択をしたと大統領府の広報担当者は説明している。

またジウマ大統領は、21日にバイア州サルバドール市で開催が予定されていた「半乾燥地域の収穫計画」の発表会への参加を同州のジャックス・ワグネル知事の要請で取止めた。

ワグネル知事はコンフェデレーションズカップの試合が開催中で、北東地域の各州知事の参加が困難であることも発表会の延期を決定したと説明、発表会の予定は決まっていない。(2013年6月20日付けブラジル・エージェンシー ルアナ・ロウレンソ氏)